

シゲルくん通信

建物超寿命化支援企業の
株式会社シゲル・コーポレーションが
毎月発行する瓦版です

NEO

★当社が協賛するBSNラジオ番組『石塚かおりのBrand new day』内にて
内容リフレッシュして、引き続き当社ラジオCMオンエア中!(毎週火曜日7:15~8:54内)

★BSN TV朝の情報・報道番組『THE TIME』内にて
当社お天気フィルターTVCMをリニューアルして放映中!(毎週月曜日6時30分頃)

毎月掲載しておりました
ことだま千絵子さんの
「ことだま」作品は、当社
ホームページにお引越し
しました。
新着情報で作品を掲載中♪



▲2025年1月4日、新潟日報朝刊に掲載された『周年企業 創業の理念』の額を頂きました(^^)

【建物超寿命化支援企業】株式会社シゲル・コーポレーション社長の増村文武です。

当社にとっては、2月は来たる新年度へ向けての計画作りを各部門で進める重要な月となります。創業60周年を迎える節目の年、来期の当社のテーマは『創立60周年 / 未来型組織体制 構築元年の年』と設定致しました。

当社は毎年度、社員の皆さんに『社員No.1宣言』をしていただきます。業務活動においてこれだけは誰にも負けない切り札を磨いていただき、社員同士がお互いに相手の強みを称え合いながら業務にあたる職場環境を目指しております。その上で、全社員の強みを結集してお客様の様々なニーズにお応えしてまいります。これから春、夏に向けての防水・外装改修や熱波対策の御相談、御用命をお待ちしております。

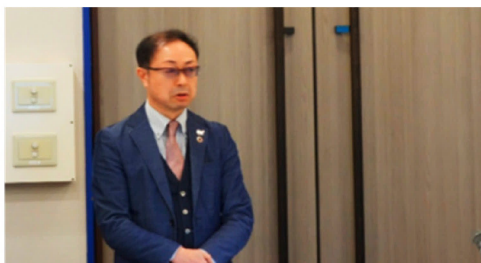
今月のトピックス

- I. 各部門年間計画会議を実施
- II. (株)タナベコンサルティング 様による「ハラスメント防止研修」の実施

I.各部門年間計画会議を実施

2025年度に向けて、各部門の年間計画会議を実施致しました。

- ★1月31日(金) 営業部年間計画会議を実施
 - ★2月17日(月) 総務部年間計画会議を実施
 - ★2月21日(金) 工事部・安全管理部年間計画会議を実施
- 各部門長より、2025年度の部門基本目標・計画について発表及び各社員個人目標・計画の発表を行いました。



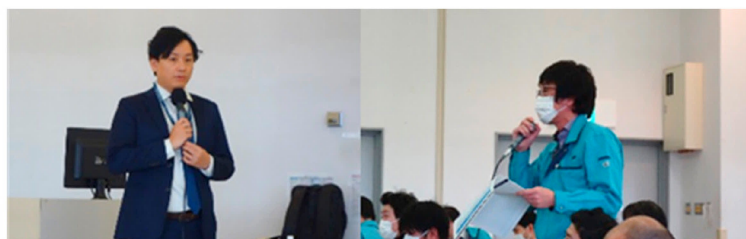
増村社長より、2025年度当社の基本方針について説明



営業部年間計画会議の様子

II.(株)タナベコンサルティング 様による「ハラスメント防止研修」の実施

ハラスメント防止研修を実施しました。職場環境の向上を目指すために、(株)タナベコンサルティング 村上様、井村様をお迎えして、職場でのハラスメント防止に関する知識を深めました。研修ではハラスメントの定義や種類、職場での適切なコミュニケーション方法を学び、具体的な対応策についても議論しました。グループワークを通じて参加者同士が実際に起こりうるシチュエーションを想定し、その場でどう対応するべきかのディスカッションも実施しました。お互いを尊重し、社員同士のいっそうの信頼関係を育むことが最終目的です。



株タナベコンサルティング 村上様

グループワークによる ディスカッション



ハラスメント防水研修の様子

荻昌弘さんを愛してやまない 俺ちゃんのシネマコラム

連載第81回 今月のテーマ『印象に残るデカ(刑事) コンビ編』



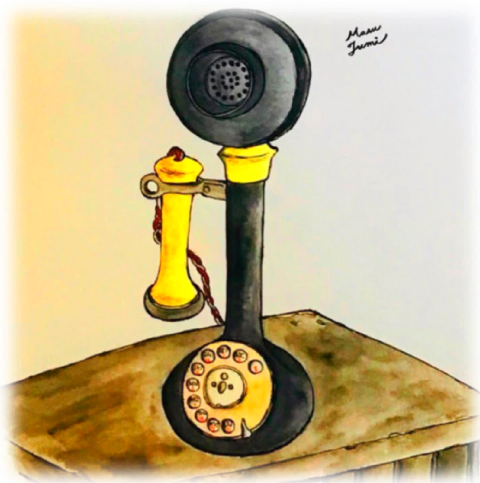
★毎月掲載している挿絵はこちらからもどうぞ。

自称、シゲル・コーポレーション内で一番の映画好き、増村文武です。

毎日肌身離さず使用しているスマートフォンですが、最近新たなプチ事実を知り、私的に驚いたことがありました 😳
スマートフォンから聞こえるお相手の声、スマートフォンを通して伝えられる自身の声、いずれもあらかじめ用意された声の音のサンプルから、実際の声に近似したものが選択・合成されて相手方に伝えられている、いわば人工音声だったって、皆さんご存知されましたか？ 知らなかったのは私だけだった?! (；^_^)

以前の固定電話は、発せられた音の空気の振動をいったん電気信号に変換して再び受け取り側の受話器で空気振動に戻しているの、仕組み的には生声といえるらしいのですが、スマホの場合は音情報の伝え方が根本的に違うようで、そう思って聞いてみると僅かな違和感も芽生え、私にとってはちょっとだけ気持ち悪さも感じてしまう新情報となりました~

さて、今回のテーマは、『印象に残るデカ(刑事) コンビ編』です💡 本コラム第35回目および第66回目では、『印象に残るデカ(刑事)』と題しまして、2回に分けてインパクトの強い単体デカを描いた計6本の作品を御紹介済ですが、今回はコンビ編、ベテラン・若手ペアによる一筋縄ではいかない捜査・追跡劇を描いた決めの3本を御紹介いたします👊



★今月のイラスト
『アンティークな電話機 No.2』

📺 No.238 『リトル・シングス (2021年 アメリカ映画)』

現在ハリウッドにおいて、刑事役を演じたら一番の大本命・安定の大御所と言ったら、やっぱり間違いなくこの人、デンゼル・ワシントンでしょう👊 以前は一目置かれる敏腕刑事だったワシントン演じるディーコンは、L.A.で起こった殺人事件がきっかけで第一線を退き、今は田舎で保安官として職務にあたる日々。しかしある時雑務でL.A.に戻ると、かつて追いかけた事件に類似した連続殺人が発生していることを知ります💡 この事件に執着し、ロス市警の若手刑事バクスターとともに私的な捜査を始めるディーコンやがてある男を容疑者としてマークしますが、ディーコンは証拠を掴もうと過激な捜査に転じ、バクスターもまた自らの家族にまで危険が及ぶほどに、この難解な事件の沼にはまっていくのでした... ワシントンと対峙してコンビを組む気鋭なバクスター役は、『ボヘミアン・ラプソディ』でフレディ・マーキュリーを演じたラミ・マレック、今回は全く別物の役作りで熱演👊 ワシントンが表現する冷静沈着だが心の闇を抱えるディーコンの役柄はかなり複雑🌀 エンディングクレジット直前、この事件の真相についての最終判断を我々に迫る、まさかの1分が待ってます👊

📺 No.239 『ハングマン (2017年 アメリカ映画)』

こちらは大御所中の大御所、アル・パチーノが主演、猟奇殺人を追う刑事コンビを描いた1本👊 24時間ごとに猟奇的な殺人が繰り返される事件が発生👊 子供の遊びである"ハングマン"にインスパイアされた犯行を繰り返す殺人鬼、犠牲者の遺体には謎の文字が刻まれ、愉快犯のように捜査陣をかく乱させます🌀 パチーノ演じるベテラン刑事アーチャーは、中堅の刑事レイとコンビを組み、さらに犯罪ジャーナリストのデイヴィスも捜査に加わった中で、次の犯行までの24時間以内というタイムリミットを抱えながら、この事件の真相と犯人像に迫っていきますが... パチーノ、年齢を重ねてのいぶし銀感が良いですね~ 男の枯れ感の滲み出させ方が達人級👊 一方、レイ役を演じるのは、本コラム第76回で御紹介『ザ・ボーイズ』で悪のスーパーヒーローと対峙するすワイルドなレジスタンスのリーダー役を演じ、一躍ブレイクしたカール・アーバン 本作ではトレードマークの髭もさっぱり、以外にも好印象なナイスガイを楽しめます👊 猟奇殺人がテーマですが陰湿真っ暗などより感は以外と弱く、テンポ良い捜査劇にフォーカスしたバランス感覚の良いスリラー👊

📺 No.240 『オーダー (2024年 カナダ映画)』

1980年代のアメリカ社会の歪みを題材とした、実話に基づく物語👊 今回紹介の3本の中では事実に基づくリアリティを一番に追求し、扱うテーマもシリアス 銀行を狙った現金強奪事件が発生👊 ジュード・ロウ演じるベテランFBI捜査官のハスクは、自然が美しい山あいの田舎町でタイ・シェリダン演じる現地の若き保安官とタッグを組み、事件を追います👊 その後も強奪事件や思想家を急襲し殺害する事件が続発👊 新興のカルト集団が関与していることを確信したハスクは、ニコラス・ホルト演じるカリスマ的な若きリーダーを追い詰めるべく、捜査をヒートアップさせますが...“オーダー”とは、当時KKKやアーリアン・ネイションズと並んで実存したカルト組織です 本作、ジュード・ロウの男臭くも繊細な演技が特筆に値します👊 物語とは対照的に要所で挿入される自然の映像美や、抑え気味な淡々とした演出も私好み👊 本コラム第47回御紹介『レディ・プレイヤー1』で主役を演じたタイ・シェリダンも、素敵なお大人の男になりました 知的な悪役を演じるニコラス・ホルトも魅力的👊 本年公開、新『スーパーマン』の宿敵レックス・ルーサー役にも期待が高まります👊

もし御興味が沸いてきましたら、皆様もぜひ一度御鑑賞を (^_-)-☆

